

研究課題名 脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明**研究責任者名** 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学准教授 飯田幸治**研究期間** 2021年4月16日（倫理委員会承認後）～ 2023年3月31日**対象者**

2009年4月から2020年3月に、本院にて診断された脊髄髄内腫瘍の患者さん。

意義・目的

脊髄髄内腫瘍は稀なため、大学病院の脳神経外科施設でも年に1-2件の経験に限られています。脊髄髄内腫瘍は重要な機能局在があり治療難しいのが現状で、現時点では診断や治療方法が十分確立していません。本研究では、稀少疾患である脊髄髄内腫瘍の治療法の解明を目的としています。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報により調査して行います。

カルテから使用する内容は年齢、性別、合併症（既往歴）、内服薬、発症形式、発症年月日、初診年月日、初診時神経学的所見、画像所見、入院年月日、手術所見、治療内容、入院時臨床経過、退院年月日、退院時所見、外来経過、最終予後等（年齢、性別、合併症（既往歴）です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関**研究代表機関** 東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野（責任者名 遠藤俊毅）

共同研究機関 北海道大学、北海道脳神経外科記念病院、札幌麻布脳神経外科病院、中村記念病院、秋田県立循環器・脳脊髄センター、岩手医科大学、総合南東北病院、自治医科大学、群馬大学、信州大学、日本医科大学、獨協医科大学、順天堂大学、埼玉医大国際医療センター、聖マリアンナ医科大学、亀田総合病院、国立がん研究センター、東京大学、東邦大学、東京慈恵会医科大学、東京医科大学、帝京大学、東京女子医科大学、都立神経病院、湘南鎌倉病院、千葉大学、北里大学、筑波大学、横浜市立大学、名古屋大学、愛知県がんセンター、名古屋医療センター、愛知医科大学、平成藤枝記念病院、藤田医科大学、神戸大学、津市民病院、富永病院、三重大学、奈良県立医科大学、京都府立医科大学、和歌山県立医科大学、大阪大学、近畿大学、京都大学、大阪市立大学、大阪医科大学、守口生野記念病院、信愛会脊椎脊髄センター、医誠会病院、岡山大学、大田記念病院、福岡大学、愛媛大学、長崎大学、久留米大学、うちかど脳神経外科クリニック、鹿児島大学

全国の共同研究機関からのデータを、東北大学に情報を集め、東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野（責任者名 遠藤俊毅）が解析します

試料・情報の管理責任者

東北大学大学院医学系研究科 神経外科学分野 遠藤俊毅

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5227

広島大学病院脳神経外科 助教 光原崇文

研究機関：広島大学